

校内研究のテーマ	課題を発見し、主体的に追究し解決する社会科学習の指導の在り方
----------	--------------------------------

## 1 単元名 中世の日本

## 2 目 標

- ・武家政権の成立と武家社会の発展，諸産業の発達と民衆の成長，東アジア世界との関わりに対する関心をもち，意欲的に学習しようとする。

(社会的事象への関心・意欲・態度)

- ・武家政権の成立と武家社会の発展，諸産業の発達と民衆の成長，東アジア世界との関わりから課題を見だし，歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察することができる。

(社会的な思考・判断)

- ・中世の政治の展開，経済の発達と社会の変化，文化の広がりに関する図版，史料，年表，地図などの様々な資料を活用するとともに，追究した結果を説明することができる。

(資料活用の技能・表現)

- ・武家政権の成立と武家社会の発展，諸産業の発達と民衆の成長などについて，東アジア世界との関わりを背景に理解することができる。

(社会的事象についての知識・理解)

## 3 単元について

本単元は12世紀から15世紀頃の我が国の歴史を扱い，中世における武家政権の成立とその後の政治，社会，文化の動きを理解させることがねらいである。

この時期の我が国では，政治や社会，文化の面で大きな変化が見られ，武士の支配が次第に広まっていった。一方，東アジア世界とは交易などを通して密接な関わりをもった。また，農業をはじめとする諸産業の発展が見られ，畿内を中心とした都市や農村に自治的な仕組みが生まれたり，武士や民衆の活力を背景にした文化が生まれたりした。

そこで，武家政権の成立とその後の武家社会の展開については，「鎌倉幕府の成立」や「南北朝の争乱と室町幕府」，「応仁の乱後の社会的な変化」に重点を置いて理解させる。また，東アジア世界との関わりについては，「元寇，日明貿易，琉球の国際的な役割」などに重点を置き，国内の政治などに与えた影響に気付かせる。さらに，文化の特色については，代表的な事例を取り上げてその特色を考えさせることにより，武家社会の発展や民衆の成長を背景に生まれた当時の文化が，今日につながる文化の原型となっていることに気付かせたい。

## 4 生徒の実態

本学級の生徒は，歴史学習には意欲的に取り組むことができている。しかし，「学習したことが次の学習に活用されていますか」の問いには，11人の生徒が「活用されていない」と考えている。また歴史学習の方法については「他の時代との比較」ができていると答えた生徒は6人であり，時代の特色を「他の時代との比較」という視点から見いだそうとしている生徒が少ないことが分かった。これらの結果から，本学級の生徒たちが歴史的事象を知識として習得するだけでなく，習得した知識を活用して「他の時代との比較という視点から時代の特色を見いだす」という新たな課題解決に取り組むことができるような単元の指導過程を

工夫する必要があると考える。

## 5 研究テーマに迫るために

単元の学習を構成するにあたって、問題を発見する場では、武士の生活に関する資料をもとに、武士の役割や武家政権が広まる理由について予想をさせ、学習問題づくりに取り組ませる。また課題追究の場では、自ら設定した学習問題について、教科書や資料集、インターネット資料などを活用し、鎌倉・室町時代の様々な歴史的事象に関する知識を習得していく。

鎌倉時代に関する課題追究の後には、これまでの学習を振り返り、習得した知識を活用して「鎌倉時代の特色」について考察を深めさせる。具体的には、天皇中心の政治が展開された平安時代の特色と、武家政権が展開された鎌倉時代とを比較し、その共通点や相違点を見いだすことができるような話し合い活動を行う。比較する際の視点としては、①政治の展開、②社会の様子、③産業の発達、④外国との関わり、⑤文化の特色、の5つの視点とする。

話し合いの学習形態としては、ホームグループとして5人構成の学習班をつくり、各生徒が上記①～⑤の視点のうち1つを担当する。さらに、視点ごとに担当者が集まりエキスパートグループを構成し、お互いに協力し合いながら調べ学習をしたり、話し合い活動を行う。その内容はホームグループに戻り報告し合い、知識の共有化を図る。これらの手立てを通して、歴史的事象に対する多面的・多角的な見方や考え方を育てたい。

## 6 指導と評価の計画（12時間扱い）

次	時	主な学習内容	関	思	技	知	評価規準
1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>武士の成長</li> <li>武家政権の成立</li> <li>武士と民衆の動き</li> <li>鎌倉時代の宗教と文化</li> </ul>	◎	○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>武士が次第に力を付け、鎌倉幕府が成立するに至った経緯について関心をもって調べようとしている。</li> <li>鎌倉時代の武士や民衆の生活の様子を理解している。</li> </ul>
3	2 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>平安時代と鎌倉時代</li> <li>鎌倉時代の特色</li> </ul>		◎		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>平安時代と鎌倉時代を比較することで各時代の特色を見いだしている。</li> </ul>
2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>モンゴルの襲来と日本</li> <li>南北朝の動乱と東アジアの変動</li> <li>室町幕府と経済の発展</li> <li>民衆の成長と戦国大名</li> <li>室町文化とその広がり</li> </ul>	○	○	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉幕府の滅亡から戦国大名が出現するまでの経緯について理解している。</li> <li>東アジア世界との密接な関わりが国内の政治に影響を及ぼしたことを説明している。</li> </ul>
4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末問題</li> </ul>					

## 7 本時の指導

### (1) 目標と評価の計画

本時の目標	「おおむね満足できる」(B)と判断される状況	「十分満足できる」と判断される視点（質的な高まりや深まりを見る視点）	「努力を要する」と判断された生徒への具体的な対応・手立て
平安時代と鎌倉時代を「政治、社会、産業、文化」の視点から比較し、鎌倉時代の「時代の特色」を見いだすことができるようにする。	<p><b>思考・判断</b> 平安、鎌倉時代を様々な視点から比較し、それぞれの「時代の特色」について考察している。</p> <p><b>知識・理解</b> 武家政権の成立と武家社会の発展について、東アジア世界との関わりを背景に理解している。</p>	<p><b>思考・判断</b> 平安、鎌倉時代を様々な視点から比較し、複数の視点から「時代の特色」を明確にしている。</p> <p><b>知識・理解</b> 武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長などについて、東アジア世界との関わりを背景に理解している。</p>	<p><b>思考・判断</b> ワークシートの内容から、平安時代と鎌倉時代の相違点を見いださせる。</p> <p><b>知識・理解</b> ワークシートの内容から、武家政権がどのように成立したのかを気付かせる。</p>

(2) 展開

学習のねらいと発問	学 習 活 動	評価・配慮事項
<p>1 導入 「鎌倉時代の武士の生活に関する資料を見て、気付いたことを発表しよう」</p> <p>2 本時の課題の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武士の生活に関する掛図を見て、気付いたことを自由に発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表がしやすい授業の雰囲気をつくるため、どんな意見も肯定的に受け止め称賛する。</li> <li>○平安時代と鎌倉時代を「比較」することで「時代の特色」を見いだすことを強調する。</li> <li>○学習の進め方をカードにして黒板に掲示する。</li> </ul>
<p>平安時代と鎌倉時代を比較して、 鎌倉時代の「時代の特色」について考えよう。</p>		
<p>3 課題追究① 「エキスパートグループごとに話し合い、平安時代と鎌倉時代の共通点と相違点を見つけよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の進め方に関する教師の説明を聞く。</li> <li>・エキスパートグループの形態に席を移動する。</li> <li>・エキスパートグループの種類               <ul style="list-style-type: none"> <li>①政治の展開グループ</li> <li>②社会の様子グループ</li> <li>③産業の発達グループ</li> <li>④外国との関わりグループ</li> <li>⑤文化の特色グループ</li> </ul> </li> <li>・前時までに調べた内容を発表し合い平安時代と鎌倉時代の共通点や相違点をワークシートにまとめていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エキスパートグループは6名を基本とする。</li> <li>○グループでの話し合いが円滑に進むように、グループリーダーを事前に決めておく。</li> <li>○グループリーダーに学習の進め方を事前に指導し、生徒が主体的に課題追究できるようにする。</li> </ul>
<p>4 課題追究② 「ホームグループに戻り、鎌倉時代の特色について考えよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エキスパートグループで話し合われた平安時代と鎌倉時代の共通点や相違点を、ホームグループに戻り発表する。</li> <li>・発表された内容をもとに、ホームグループごとに鎌倉時代の特色について話し合う。</li> </ul>	<p><b>思考・判断</b></p> <p>平安、鎌倉時代を様々な視点から比較し、それぞれの「時代の特色」について考察している。 (ワークシート)</p>
<p>5 課題追究③ 「ホームグループで話し合われた内容を発表しよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームグループで話し合われた鎌倉時代の特色について発表する。</li> <li>・他のグループの発表を聞いて気付いたことをワークシートに書き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時代の特色が見出せたら、なぜそうなるのか理由を付けて説明できるように助言する。</li> <li>○予想される生徒の意見をカードにしておき、黒板に掲示する。</li> <li>○グループの代表者による発表とし、質問や意見を発言してもよいことを伝える。</li> </ul>
<p>6 まとめ 「ワークシートに鎌倉時代の特色を書こう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座席をもとの形態に移動する。</li> <li>・個人のワークシートに自分の考えた鎌倉時代の特色を記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時代の特色を記入する際には、その理由も含めて説明させる。</li> </ul>
<p>7 自己評価 「反省カードに自己評価をしよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価を行う。</li> <li>・本時の学習の感想を発表する</li> </ul>	<p><b>知識・理解</b></p> <p>武家政権の成立と武家社会の発展について、東アジア世界との関わりを背景に理解している。 (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の良い点を称賛し、次時への意欲付けとする。</li> </ul>

# 鎌倉時代の学習をまとめよう

1年 組 番 氏名

平安時代と鎌倉時代を比較して、  
鎌倉時代の「時代の特色」について考えよう

- 1 エキスパートグループごとに調べたことを発表し合い、グループの意見をまとめて下の表に書き入れよう。
- 2 ホームグループにもどり、エキスパートグループでまとめられた意見を発表し合い、下の表に書き入れよう。

政治の展開	
社会の様子	
産業の発達	
外国との関係	
文化の特色	

3 ホームグループごとに、左の表を見て「鎌倉時代の特色とその理由」をまとめよう。  
(グループの考えはホワイトボードに書き出してください)

4 各グループの発表を聞いて「鎌倉時代の特色とその理由」を個人でまとめよう。

「鎌倉時代」とはどんな時代だったのだろう？

その理由は？

5 今日の授業を振り返って( A : よくできた B : まあまあ C : あまりできなかった )

1 「鎌倉時代の特色」について自分の考えを発表することができた	
2 「鎌倉時代の特色」について友達の考えを聞くことができた	
3 「鎌倉時代の特色」について理解することができた	
感想をかんたんに	